



左上) 子ども達を見守る法子さん 右上) 自転車で元気に遊ぶ
左下) 壁のしっくい塗りやれんが造りのキッチンストープは自分たち
でつくった 右中) 食器棚も手作り 右下) 家庭菜園を親子で楽しむ



西方寺平地区は近年、若い世帯が増え、どんどん若返っています。地域としても来られる人を温かく迎え入れるようにしています。

地域に空き家があり、空き家情報バンクへ登録するために片付けをしたのですが、これが大変で何人かで分担して片付けました。片付けや修理のことがあるので、空き家を売りたいときは早くバンクに登録した方がいいと思います。空き家になっているところへ橋本さんのような若い世帯が来てくれることはとてもありがたいですね。子ども達が走り回っている姿が見られるのはうれしいです。

地域も温かく
迎え入れるように

京の田舎ぐらし
ナビゲーター
泉清毅さん



自分でする改修が
とっても楽しい

京都市で暮らしていましたが、子どもが生まれたのをきっかけに舞鶴市への移住を決意しました。移住当時の舞鶴の印象は「山や海があり豊かな土地があり、食べ物が新鮮でおいしい」でした。特にここは気軽に入れる川もあり、子ども達を思いっきり遊ばせたい思いとも合致していました。古いものやものづくりが好きで、古民家がとても魅力的に見え、タイミングもよく引っ越ししました。この家は昔、牛を飼っていたようで小屋などがあり、昔の人の生活の知恵を見つけたときにはタイムスリップしたような楽しさがありました。植木や解体の仕事をしていて、出た廃材などを持ち帰り、自宅の改修の材料にしています。大規模なリフォームの際は府や市の補助金があり助かりました。まだまだ改修途中で、今後ずっと家のバージョンアップができるのかなと思うとわくわくします。

古民家を改修して暮らす
橋本哲也さん(左)
法子さん(右)

子ども達を思いっきり全身を使って遊ばせたい」と加佐地域の西方寺平地区に引っ越してきた橋本さん一家。現在住む家は、知り合いを通じて紹介してもらった元『空き家』の古民家です。友達の手も借りながら自らの手で家の改修をする橋本さんと同地区で移住者を案内する京の田舎ぐらしナビゲーターの泉さんにお話を伺いました。

子育てのために
自然豊かな地域を選択

西方寺平で
空き家改修

▲玄関前で談笑する泉さん(左)と橋本さん(右)

